

令和4年度農地中間管理事業に対する評価・意見等

令和5年6月21日（水）開催

| 項 目 | 評価・意見等 |
|--|--|
| <p>●実績について</p> <p>●これまでの取り組みを踏まえて、今後の事業推進に対する提言、意見など</p> | <p>○令和4年度の機構貸付目標は800haであった。</p> <ul style="list-style-type: none">・県段階では、県関係部局や関係団体との連携会議を開催し、事業推進方針の周知や進捗管理、人・農地プランの実質化に関する情報共有、課題への対応策の検討などに取り組んだ。・市町段階では、市町毎の推進チーム会への参加や市町・振興局への推進キャラバン、農業委員等研修会への参加等を通して、意見交換を行いながら、中間管理事業の推進や進捗管理を行うとともに、人・農地プランの実質化に必要な地図化や集落での話し合い、将来方針策定の推進を図った。・市町等で共有している経営規模縮小意向農家等の農地情報を、規模拡大・効率化を進める担い手に紹介しマッチングを図るとともに、土地改良区、中山間直接支払組織・多面的直接支払組織及び産地部会などを中心に、重点対象地区を推進チーム会で選定し、農地中間管理事業を活用した農地の集積を推進した。 <p>など、様々な取り組みの結果、目標を下回ったものの、748haを貸し付けており、概ね目標に近い推進が図られた。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 長崎県農地集積目標の設定について <p>農地中間管理事業の活用年間目標面積 800ha（県農林部重点目標）に加えて担い手への農地集積目標 82%（第3期「ながさき農林業・農山村活性化計画（R3～R12）」）が示されているが、本事業開始後10年目となるなか、市町が明確な目標に向かって推進できるよう新たな目標設定の検討が必要ではないか。</p>2. 市町推進チーム会の活性化について <p>各市町推進チーム会の開催状況や事業実績等を踏まえ、更なるチーム会の活動強化が必要ではないか。</p> |